

## 北アルプス：槍ヶ岳集中山行 北鎌尾根

- ◆日程 2023年9月16日(土)～18日(月祝)  
 ◆メンバー L：TY、SDK、OT、OB、DT



いつかはやってみたくと思っていた北鎌尾根。仲間と天気恵まれ実現した。体力とルートファインディング力が試される厳しいバリエーションとなった。殺生ヒュッテからガツンと下り北鎌尾根に上がった時には体力を使い果たしヘトヘトだった。それでも猛々しい岩尾根と迫りくる槍の迫力に身震いしながら歩き続けた。最後まで歩ききれるか自信がなかったが無事に登頂できたのは日頃からトレーニングを共にして来た仲間のお陰だ。これからもトレーニングを積んでバリエーションの世界に挑戦でしたい。

(記：TY)

## 9月16日(土) 天候：曇り

それぞれに往路の交通手段を確保し、土曜早朝に上高地 BT へ集合した。OBさんとDTはちょっと贅沢に3列シートの夜行バスを確保。4列と比べても格段に快適で、しっかりと睡眠をとることができた。上高地 BT で装備を分担したら、槍沢メンバーより一足早く出発。初日の行程は殺生ヒュッテまでと長く、且つ狭いテン場でジャンボテントを張る為少しでも早く到着



する必要がある。北鎌メンバーはみな上高地に何度も入ったことがあるため、写真もそこそこに足早に先を急いだ。

大曲を過ぎたあたりで私の体に異変が始まる。日頃の睡眠不足と運動不足がたたったり、ペースを保てなくなる。頑張っついていこうとしたがパーティーの迷惑になってしまうため、SDさん・TYさん・OTさんに先行して場所取りをお願いし、私は登山道脇で30分の仮眠。OBさんが付き添ってくださった。その後なんとか回復するもペースが乗らず、

OBさんにフォローしてもらい細かく休憩をはさみながらなんとか15時前に殺生ヒュッテに到着した。前半がハイペースだったので、休憩を入れても結果コースタイム内で到着できたのは何よりだった。到着時にはちょうどテントの設営も終わっており、すぐにテントに入って翌日の支度を整え、早めの夕食をとる。

初夜の食担は毎回メニュー決めに気合が入る。今回私が用意したのはサーモン丼とオニオンスープ。喜んでもらえたようで嬉しかった。下界での疲労が皆溜まっていたのか、18時にはシュラフを広げておやすみモードに突入。初日でバテてしまった私は翌日の本チャンを無事終わられるのか不安が大きかったが、不安より楽しみの気持ちが圧勝だった。やるしかない、そう決めて不安の思いは声に出さず飲み込んで眠りについた。(記:DT)

CT: 上高地 BT 6:00 - 横尾 8:18 - ババ平 10:20- 大曲 11:05- 殺生ヒュッテ  
14:32

### 9月17日(日) 天候: 晴れ

2時起床、長い一日が始まる。腹具合は良い。3週間前の大峰山で負った左前脛骨筋への打撲のタンコブも昨日の動きを見る限り影響はなさそう。その間の山行ブランクは気力でカバーということにする。途中水の補給が期待できないため、各自3L以上所持。まずは水俣乗越に向けて東鎌尾根を進む。暗い中岩稜歩きの足慣らしだ。水俣乗越からザレた沢筋の急下降開始後、周囲が明るくなる。足場が悪く、これまで稼いだ標高を1000mほどひた下る。北鎌沢出合ではテントが一張だけ残っている。途中撤退の人に聞くと昨晚までに20張ほどあったそう。



下方から3名パーティーが藪漕ぎして来た。途中水筒を紛失したそうなので、SDさんが貴重な水をおすそ分け。ここから暫くは樹林の中だ。次第にバリエーションらしくなる。スリリングな岩場の登下降を繰り返すと次第に樹林から抜け出し、ハイマツ帯に。気持ち良い風と全方向の展望の中、アップダウンを繰り返す。所々、踏み跡が不明瞭なところでは、先頭のTYLと2番手のSDさんがうまく連携と偵察をすることで最適解を見出して行く。これこそがバリエーションルートの醍醐味だ。大槍の手前に立ちふさがる独標の右を巻くといよいよ大槍が迫ってくる。登下降のなか、最後尾の自分はパーティーの様子を見ながら、スムーズかつ石を落とさない動作を

ハーネスを着用し、北鎌沢右俣を遡上。30分ほど進むと湧水。暑くなりそうなので補給。ここから北鎌の科尔まで1.5時間休憩なしで詰め上がりだ。沢登りに慣れていないと厳しいだろう。直射光の暑さでひたすら喉が渇く。科尔が目前に見えるのに一向にたどり着けない我慢の時間になった。科尔に着き、ようやく北鎌尾根に立てた。一息ついていると、尾根





心掛けた。北鎌平に着き、いよいよ槍の穂先に取付こうというところで轟音と共に岩雪崩。事故のようだ。上からは「ちょっと待ってー！頑張ってー！」の声。皆茫然とし、緊張が走る。気を引き締めて最後の登りに入る。適切に弱点を突きながら進み、先行者に追いつく。最後、取付きにくい所もあったが A0 せずに登頂成功。皆で成し遂げた感動も混雑した山頂では束の間の出来事。西側の小槍にはクライミングしているパーティー。インパクト抜群だ。槍の肩まで下山すると救助ヘリが飛来。事故発生から 1.5 時間以上経過していた。要救助者の生存を祈りながら殺生ヒュッテに帰還。先着した槍沢組と無事の登頂を祝って乾杯し、長い一日を締めくくった。  
(記：OT)

CT：殺生ヒュッテ 3:10 - 水俣乗越 4:45 - 北鎌沢出合 6:30/6:55 - 北鎌のコル  
8:55/9:15 - 北鎌平 14:35/14:55 - 槍ヶ岳 15:30 - 殺生ヒュッテ 17:00

### 9月18日(月祝) 天候：晴れ

昨日までの激闘の影響か、朝起きると身体の節々が痛い。朝食に美味しいへぎ蕎麦を頂き下山準備を始める。5時前に8人揃って下山を始めると Morgenrot が槍ヶ岳を美しく照らし、別れを告げるのが名残惜しく感じた。今回の山行は北鎌組、槍沢組、共に槍ヶ岳を満喫した素晴らしい山行だった。

途中の徳沢で名物のソフトクリームを食べ、明神で高速バス組と電机组に分かれた。高速バス組は嘉門次小屋に岩魚の塩焼きを食べに行き、電机组は小梨の湯でサッパリしてから隣の食堂で打ち上げをした。  
(記：SD)

CT：殺生ヒュッテ 4:40 - 槍沢ロッジ 7:00 - 横尾 8:40 - 徳沢 9:50 - 明神 11:00

